



なぞって練習

「天は人の上に人を造  
らず人の下に人を造ら  
ず」と言えり。され  
ば天より人を生ずるに  
は、万人は万人みな  
同じ位にして、生ま  
れながら貴賤上下の差  
別なく、万物の霊た  
る身と心との働きをも  
つて天地の間にあるよ  
ろずの物を資り、もつ  
て衣食住の用を達し、  
自由自在、互いに人の  
妨げをなさずしておの  
おの安楽にこの世を渡  
らしめ給うの趣意なり。

■ふりがな（青空文庫のふりがなより）

- ・貴賤【きせん】
- ・資り【とり】